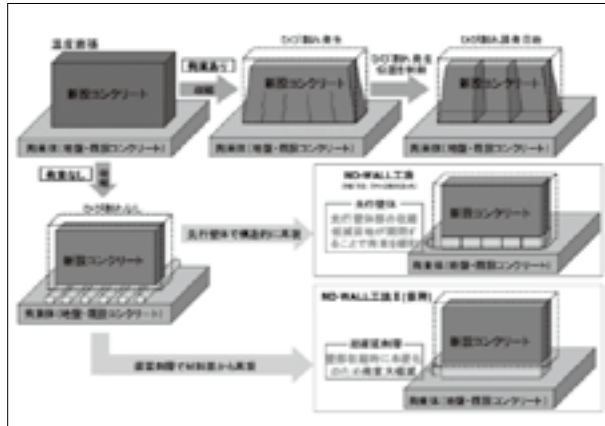


甲・信・越
——
長野県

北沢建設(株)

コンクリートひび割れ抑制で特許を取得 補修工事ノウハウで建設コンサルも



先行壁体で拘束を緩和するND-ウォール工法と、遅延剤層を設けるNDリターダー工法 (= ND-WALL 工法II)。従来の壁状コンクリート構造物施工では主に誘発目地が用いられてきた

2009年に「コンクリートから人へ」というマニフェストを掲げたのは当時の民主党だが、北沢建設(株)のモットーは「コンクリートにも人にも投資」だ。政権交代以降も公共事業費は伸び悩んでいるが、同社は独自の工法で特許を取得し、あらたに建設コンサルタント業を開始するなどして業務の幅を広げている。

北沢資謹社長が生き残りをかけて、13年に取得した特許は「ND-WALL(ウォール)工法」と呼ばれるもの。この特許は産

太鼓判押しします!!



東京中小企業投資育成(株) 業務第四部 矢内雅章さん

日常生活の安心・安全と利便性は、町と町、家と家をつなぐ道、川や谷をまたぐ橋、山をうがつトンネルといった社会資本から成り立っています。よい社会資本を長期間使えるように、人の育成と技術の研さんを続ける「コンクリートのプロフェッショナル集団=北沢建設」の活躍から、今後も目がはなせません。

学連携から生まれた。連携したのは建設コンサルタントの日本コンクリート技術(株)(東京都墨田区)や足利工業大学、全国各地の企業などだ。

一般にコンクリー



理工学部土木工学科卒。大手建設会社を経て父が創業した現在の会社に入社。2000年に社長に就任後、ND-ウォール工法をはじめとしたあらたな領域で開拓を進めている北沢社長



トは化学反応による発熱で膨張↓収縮し硬化する。その際、底部が拘束されていると温度によるひび割れが生じやすく、とくに壁式の鉄筋コンクリート構造物では将来、耐久性に深刻な影響をおよぼすことが多い。が、同工法を使えば、これを「側壁に作用する」「底部の拘束力を低減させる」ことで解消できるといふ。現在はその発展型で水和熱抑制型超遅延剤を用いる「NDリターダー工法」が、全国各地の構造物で活用さ

れは始めているという。技術者たちからは「低コストで温度によるひび割れを抑制できる」と高い評価を得られているそうだ。

近年は補修・補強のニーズも増えているが、新設も含め、構造物を丈夫で長持ちさせるには幅広い経験や技術が求められる。そこで、同社では「全社員に土木施工管理技士のほか、技術士、コンクリート診断士などの資格取得を推奨している」という。そして、同社にはそういった企業姿勢に魅力を感じる若者が集まってきているそうだ。地方の建設業では受注減や求められる技術ハードルが上がるとともに、担い手不足も深刻になっている。国内のインフラ維持・発展のためには、国の政策だけでなく、同社のような企業努力がますます必要になってくるのではないかと。

社長の自社採点	
企画開発	☆☆☆☆
営業力	☆☆☆☆
成長力	☆☆☆☆
収益力	☆☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆☆☆
計画性	☆☆☆☆☆
リスクマネジメント	☆☆☆☆

■会社概要
所在地・長野県飯田市吾妻町7
026512310072 / 創業1955年 / 従業員45名 / 資本金5500万円 / <http://www.kitazawakenetsu.co.jp>